調査計画票の記入例

様式 v0.9 に対応（2026-09-21）

この記入例について

どの欄に何を、どれくらいの分量で書くかの見本です。

- 学校名、氏名、団体名はすべて架空です
- **レビューを受ける前の状態を載せています。この計画にもレビューで指摘は付きます**
- 自分の調査に合わせて書いてください。同じように書けば通るというものではありません
- 1 項目に数行あれば足ります

想定した調査は、Google フォームで作った校内アンケートです。インタビューや紙のアンケートでも、書く項目は同じです。

0 この計画について

0-1 この計画を書いた日

答え

書いた日	2026 年 10 月 3 日
前回このレビューに出したものから変えたところ	初めての提出です

0-2 テーマ。何を明らかにしたいか（3 行以内）

答え

アルバイトをしている高校生が、部活動や探究の時間をどうやって確保しているのかを知りたい。自分もアルバイトを始めてから探究の時間が取れなくなったので、同じ学年の人がどう両立しているのか、あるいは何かをあきらめているのかを調べたい。

0-3 調査の種類

答え

☑ Web アンケート（Google フォーム、Microsoft Forms など）

☐ 紙のアンケート

☐ インタビュー（対面、オンライン、電話）

☐ その他（　　）

0-4 本人の確認

答え

☑ この計画票を自分で書きました

☑ 自分で提出し、レビュー結果を自分で受け取ることに同意します

1 誰に聞くか

1-1 対象者はどんな人か

答え

自分と同じ高校の 2 年生。アルバイトをしている人もしていない人も両方に答えてもらう。

1-2 予定する人数と、対象の集団の大きさ

答え

配る人数	2 年生 6 クラス、約 240 人
回答をもらう見込みの人数	50 人くらい
対象にしている集団全体の人数	2 年生全体で 240 人。配る人数と同じ

1-3 対象者に 18 歳未満が含まれるか（あてはまるものをすべて選ぶ）

答え

☐ 全員 18 歳以上

☑ 16 歳から 17 歳が含まれる

☐ 15 歳以下が含まれる

1-4 対象者とあなたの関係

答え

☑ 同級生、部活の仲間

☐ 後輩

☐ 先生や大人（自分から協力をお願いする相手）

☐ 家族や親戚

☐ 面識のない人

☐ 専門家や団体

1-5 どう募集し、どう頼むか

答え

☐ 教室で配る

☐ 学校や塾の名簿を使う

☑ 学校を通して配ってもらう

☐ SNS で募る

☐ 街頭で声をかける

☐ 知人に紹介してもらう

☐ メールで依頼する

- 相手に事前に連絡するか

☐ 連絡してから行く（依頼文や電話で）

☐ 連絡せずに直接行く

☑ 該当しない（同級生や家族など、改めて連絡する形ではない）

2 年生の Google Classroom に、担任の先生からフォームの URL を投稿してもらう。

2 なぜこの相手か

2-1 なぜこの相手に聞く必要があるか

答え

同じ学校の 2 年生なら、時間割も探究の締切も部活のルールも同じなので、アルバイトをしているかどうかの違いだけで比べられると思ったから。他校の人に聞くと、学校ごとの決まりの違いが混ざって比べにくくなる。

2-2 人に聞く前に自分で調べたこと（3 つまで）

答え

1.	厚生労働省「アルバイトをするときの基礎知識」（労働時間の決まりは分かったが、時間の使い方は分からなかった）
2.	学校の図書館で『高校生の生活時間』という本を探したが、見つからなかった
3.	高校生の生活時間の統計は国の調査にあったが、アルバイトと部活を分けた数字が無かった

2-3 相手が専門家や団体の場合、その相手が公開している受付条件を読んだか

答え

読んだか	該当しない（対象は同級生のため）
読んだ場所（URL など）	—

3 どこで、どう聞くか

3-1 実施の場

答え

☐ 教室の中（授業時間）

☐ 授業時間外の校内

☑ オンライン

☐ 街頭

☐ 相手の職場や活動場所

3-2 配布と回収の方法

答え

誰が配るか	担任の先生が Google Classroom に URL を投稿する

誰が回収するか	自分（Google フォームに自動で集まる）
回答を見る人	自分だけ。フォームの編集権限は自分しか持っていない

3-3 記名か無記名か

答え

☐ 記名

☑ 無記名

無記名の場合、回答者に答えてもらう項目	学年（2 年生のみ）、部活動に入っているかどうか、アルバイトの有無

3-4 回答にかかる時間の目安（分）

答え

自分で答えてみて 3 分だった。フォームには「3 分くらい」と書いた。

3-5 途中でやめられるか。答えたくない設問を飛ばせるか

答え

☑ 途中で回答をやめられる（送信しなければ回答は残らない）

☐ 答えたくない設問を飛ばせる（必須にしていない設問がある）

☑ すべての設問を必須にしている

集計のときに空欄があると困ると思って、全部の設問を必須にした。

3-6 録音・録画・写真撮影をするか。する場合、いつ消すか

答え

するか	しない

消す時期	—

4 何を聞くか（設問の提出）

4-1 フォームの全画面（必須。添付）

答え

添付したファイル名	アンケート画面.pdf
画面の枚数	5 枚（セクション 1 と 3、分岐でセクション 2 を通る場合と通らない場合の 2 通り）
設問に番号を振っているか	質問文の先頭に、自分で Q1 から Q12 まで付けた

4-2 遷移メモ（分岐がある場合は必須）

答え

Q4 で「している」を選ぶとセクション 2（アルバイトについて）へ Q4 で「していない」を選ぶとセクション 3（部活と探究）へ セクション 2 の最後からセクション 3 へ

4-3 配慮が要る事項に当てはまると思う設問

答え

設問の番号、またはページと書き出し	どの事項に当たると思うか
Q7	アルバイトを始めた理由を聞いている。選択肢に「家の事情」を入れたので、家のお金のことに触れるかもしれない
Q11	定期テストのだいたいの順位を聞いている。成績のことなので、答えたくない人がいると思う

5 どう頼み、どう説明するか

5-1 依頼文・募集文の本文（そのまま貼る）

答え

2 年生のみなさんへ 探究の授業で「アルバイトと部活・探究の両立」について調べています。 3 分くらいで終わるアンケートです。答えられる人はお願いします。 ・答えは名前を書かずに集めます ・結果は 11 月の校内発表会で発表します。個人が分かる形では出しません ・答えたくない場合は送信しなくてかまいません 2 年 3 組 佐倉

5-2 同意の取り方

答え

- ☐ 口頭で頼む
- ☑ 依頼文に説明を書き、答えてもらうことで同意とする
- ☐ 同意欄にチェックを入れてもらう
- ☐ 署名をもらう

5-3 依頼文に書いた内容（次の 6 項目）

答え

- ☐ 実施者の氏名と連絡先
- ☑ 目的と内容と、回答にかかる時間
- ☐ なぜあなたに頼むのか
- ☑ 匿名にするかどうか
- ☐ 答えなくても困ることがないこと（成績や関係に響かないこと）
- ☑ 結果を何に使い、どこに出すか

5-4 依頼文に「途中でやめられる」「答えたくない質問は飛ばせる」と書いてあるか

答え

☐ 途中でやめられると書いてある

☐ 答えたくない質問は飛ばせると書いてある

6 データをどうするか

6-1 回答をどこに保存するか。誰が見るか

答え

保存する場所	Google フォームに付いてくるスプレッドシート。学校の Google アカウントで作った
見る人	自分だけ。ただし探究の担当の先生に見せることがあるかもしれない

6-2 集めた回答をいつ消すか

答え

発表が終わったら消す。

6-3 対象者が「自分の回答を消してほしい」と言ってきたら、どう応じるか

答え

無記名なので、どれがその人の回答か分からない。消せないと思う。

7 結果をどこに出すか

7-1 発表や提出の先

答え

☑ 校内の発表会

☐ 校外のコンテスト、発表会

☐ Web や SNS

☐ 論文集、報告集

☐ 提出のみ（発表しない）

まだ決まっていないが、校内発表でよかったら市の探究発表会に出す話もある。

7-2 どの細かさで出すか

答え

☑ 集計した数字だけ

☑ 自由記述を引用する

☐ 個人の回答をそのまま載せる

集計をどの組み合わせで出すか（例: 学年だけ／学年×性別／出さない）	学年だけ。部活やアルバイトとの組み合わせでは出さない

7-3 引用する場合、本人に見せて確認を取るか

答え

無記名なので本人に確認は取れない。そのまま引用するつもりだった。

8 あなた自身について

8-1 この調査について相談できる大人はいるか

答え

☑ 先生

☐ 保護者

☐ 塾や探究支援の人

□ いない

探究の担当の先生(担任と同じ)に相談できる。

8-2 困ったことが起きたときの相談先と、どうするか

答え

相談する相手	担任の先生
どうするか	回答に「バイトで学校をやめようと思っている」みたいなことが書かれていたらどうするかは、まだ決めていない

8-3 調査を途中でやめられるか。やめたときに探究をどう仕上げるか

答え

途中でやめられるか	やめられると思う。回答が 10 人も集まらなかったらやめる
やめた場合、探究をどうまとめるか	アンケートはやめて、文献だけで書く形に切り替える。担当の先生にはその可能性を伝えてある

8-4 調査にかける期間と回数

答え

期間(何週間)	2 週間(10 月 6 日から 10 月 17 日まで)
回数(何回)	1 回
1 回にかかる時間(あなたが調査にあてる時間)	集計と作図に 3 時間くらい

9 学校や先生からの条件

9-1 学校、先生、コンテストの要項から指示されている条件

答え

探究の要項に、「アンケートを取るなら事前に担任の確認を取ること」「調査は 10 月末までに終わらせること」と書いてある。担任の確認はこれから取る。

10 自由記入（任意）

10-1 ここまでで書けなかったこと、迷っていること

答え

アルバイトをしていない人に「していない理由」を聞くかどうかで迷っている。聞いたほうが比べられると思うけれど、「家が厳しい」みたいな答えが出てきたときに、それを発表で使っていいのか分からない。

提出前のチェック

☑ 0 から 9 の項目に、答えか「分からない」を書いた

☑ フォームの全画面を添付した（4-1）

☑ 分岐がある場合、遷移メモを書いた（4-2）

☑ 「配慮が要る事項のマニュアル」を読んで、4-3 を書いた

☑ 依頼文を貼った、または「未作成」と書いた（5-1）

調査計画票 記入例 様式 v0.9（2026-09-21） 探究調査レビュー／株式会社七夕研究所

2026-09-22 改訂: 1-5 と 7-2 に枝を足した（W-2.5 第 1 周 提案 8。仮置き）。